

第12回『ロータリーの友』地区だより（6月号）



初夏の候、益々ご健勝のほどお慶び申し上げます。

“地区だより”も最終となりました、今年度一年皆様には大変お世話になりありがとうございました。今後とも「ロータリーの友」誌の購読促進をよろしく願いいたします。

6月は『ロータリー親睦活動月間』です

是非お目通し頂きたい記事

☆ 横組

- RI 会長メッセージ “最後の一人の子どもまで” 1 頁
李東建 RI 会長最後の RI 会長メッセージです。今年度、李会長は子どもの死亡率を低減するよう、全世界のロータリアンに呼びかけました。そして「私たちは飢えや貧困で死ぬ子どもが一人もいなくなるまで、活動を続けなければならないのです」と呼びかけています。
(ロータリージャパンより)
- 第4回 写真コンテスト “読者がとらえたロータリー精神” 5 頁
RI ウェブサイトなどで、全世界のロータリアンに公募した写真コンテストの優秀作品を紹介いたします。残念ながら、日本のロータリアンの写真はありませんでしたが、世界のさまざまな国からの現場の写真をご覧ください。
(ロータリージャパンより)
- IGFR “ゴルフを通して親睦を図る” 10 頁
「IGFR とは、International Golfing Fellowship Rotarians（ロータリアンの国際ゴルフ親睦グループ）の略語で、文化や習慣の違う世界各地からロータリアンが集い、毎日顔を合わせゴルフという共通の趣味スポーツを通じて国際的な親睦、友好を深め奉仕につなぐ役割を果たします。大会参加国会員が持ち寄った品を福引の景品として券を販売し、売り上げをホストラブを通じ、しかるべき先にきふもしています」と述べています。(ロータリージャパンより)
- 「決議23-34」最新情報 これまで通り『手続要覧』に記載されます 19 頁
- RI 指定記事 “苦しいときのクラブ運営” 20 頁
経済的に過酷な時期のクラブ活動、寄付の集め方、会員増強、会員維持
- ☆ 2008—2009 年度 地区大会略報 第2640地区（是非お読みください） 29 頁

☆ 縦組

- 認知症の理解と予防 (医学博士) 大國 美智子氏 2 頁
認知症の高齢者は、2002 年の調査で 149 万人でしたが、2015 年には 250 万人になるであろうと推定されています。同じことを繰り返し何回も聞く。これは認知症の始まりです。

聞かれた方は大変ですが、病気だからと思って、何回もまじめに答えてあげてください。
認知症で大事なことは「そう」という言葉なのです。つまり、その高齢者の気持ちを受け
入れるということです。 (ロータリージャパンより)

○ 柳壇	・・・・・・・・・・・・・・・・	15頁
「腹芸の出来ぬ真面目が損をする」	大阪・大阪金剛RC	井出 俊太郎会員
「菜の花の苦味もうれしバースディー」	大阪・堺RC	清水 亜稀未会員
「夫婦旅みやげ選びでひと波乱」	大阪・河内長野東RC	森 明信会員
「遠慮なく本音云い合うクラス会」	大阪・堺RC	和田 聖花会員
○友愛の広場	・・・・・・・・・・・・・・・・	19頁
「わたしのクラブ自慢」	和歌山・田辺はまゆうRC	和佐 昌彦会員
○ロータリーアットワーク	・・・・・・・・・・・・・・・・	22頁
「昆虫が集まる山づくり」	大阪・岸和田北RC	
「郷土史を学ぶ」	大阪・貝塚コスモスRC	

「ロータリーの友」アンケート結果 (一部)

「ロータリーの友」誌の購読について、【義務購読】

“購”については100%となっていますが

“読”について 全頁精読する=14.5%

一通り目を通して興味のあるところだけを読む=79.7%

あまり読まない=2.9% という結果となりました。

今後とも「ロータリーの友」誌をよろしく願いたします。

「ロータリーの友」地区委員
山口 正眞 (和泉RC)